

平成17年9月11日執行
衆議院議員選挙の世論調査

衆議院議員選挙に関する世論調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 調査対象、回収数等

今後の選挙事務の管理執行や選挙啓発の参考資料とするため、平成17年9月11日執行の衆議院議員選挙において、東京都内の有権者が示した投票行動、候補者の選定、選挙運動や啓発媒体との接触状況等に関する意識や関心などを調査しました。

調査地域,対象 東京都全域(島部を除く)居住の満20歳以上の個人
調査対象,回収数 1,600人, 回収数1,097人(回収率68.6%)
調査方法,期間 個別面接法, 平成18年1月7日～1月31日

2 主な調査結果

(1) 選挙への関心度

「関心があった」人の合計は84.5%と、8割を超える。
「かなり関心があった」(53.4%)は半数を超える。
「少しは関心があった」(31.1%)を合わせた
『関心があった』人の合計は84.5%と、8割を超える。

(2) 支持する候補者の戦況と投票行動

「自分が支持する候補者はかなり強いので、自分が投票しなくても当選すると思った」が25.2%でトップ。以下、
「自分が投票しても、自分の支持する候補者の当選は難しいと思った」(14.0%)
「自分が投票しなくても、自分の支持する候補者はギリギリで当選すると思った」(11.6%)
「自分が支持する候補者が当落選上にいるので、自分が投票すれば当選すると思った」(10.9%)と続く。

(3) 投票の動機

「国政をよくするためには、投票することが大切だと思ったから」が58.5%でトップ。以下、
「投票することは、国民の義務であるから」(46.8%)
「投票することは、国民の権利であるから」(36.9%)
「自分の支持する政党の推す候補者を当選させたかったから」(31.7%)と続く。

(4) 投票した候補者の選定理由

「候補者の政策や主張に賛成だから」が39.9%でトップ。以下、
「国政全体のことを考えてくれる人だと思ったから」(36.0%)
「自分の日常の暮らしを守ってくれる人だと思ったから」(25.5%)
「自分の支持する政党の推薦する人だから」(23.6%)と続く。

(5) 投票において期待・関心を寄せた政策(59ページ参照)

複数回答では「年金問題」が67.4%でトップ。以下、
「景気対策」(58.3%)
「郵政民営化」(45.6%)
「高齢者対策」(41.7%)と続く。

単一回答では「郵政民営化」(21.9%)が2割を超えてトップ。以下、
「年金問題」(18.0%)
「景気対策」(17.9%)と続く。

(6) 候補者の選定に役立った媒体

複数回答、単一回答ともに「テレビの政見放送、経歴放送」
(:34.8%、 :19.1%)でトップ。以下、
「選挙公報」(:28.9%、 :15.2%)
「テレビ・ラジオの選挙報道」(:26.6%、 :12.2%)と続く。

(7) 政治・選挙への意識

「政治は日常生活と切り離せない」ものかどうかを聞いたところ、
「非常にそう思う」(44.7%)と
「まあそう思う」(44.1%)を合わせた、
『そう思う』の合計は、88.8%となっている。